サケ稚魚放流情報　No. ２

令　和　６　年　２　月　２９　日
岩手県水産技術センター
漁業資源部（担当：岡部）
ＴＥＬ：０１９３－２６－７９１５
ＦＡＸ：０１９３－２６－７９２０

２月上旬における湾内の表面水温は７～13℃台で、野田湾及び宮古湾で平年並、山田湾以南で平年よりも高めとなりました。また、２月上旬の動物プランクトン沈殿量は、各湾とも平年よりも少ない傾向でした。

現在、本県沿岸域付近に親潮の波及が認められますが、今後、親潮の波及は弱まり、再び黒潮が優勢となる予想です。３月中旬以降は再び水温の上昇が見込まれますので、1.5g 以上に成長した稚魚※1については、随時、放流を検討してください。

１　表面水温（℃）

	野田湾※2	宮古湾	山田湾	唐丹湾	越喜来湾	大船渡湾
観測値(2/7,8)	**8.6**	**7.3**	**9.8**	**13.2**	**13.1**	**10.5**
平年*3	9.1	7.0	7.1	8.2	7.8	7.1
前年同期	7.1	6.8	7.9	7.8	8.1	7.2

２月上旬の各湾の表面水温は７～13℃台で、野田湾及び宮古湾で平年並、山田湾以南で平年より３～５℃程度高めとなりました（図１）。なお、２月下旬は荒天のため、欠測となりました。

２　動物プランクトン沈殿量（ノルパックネット鉛直 20m曳き、mL/m³）

	野田湾※2	宮古湾	山田湾	唐丹湾	越喜来湾	大船渡湾
観測値(2/7,8)	**0.09**	**0.03**	**0.03**	**0.03**	**0.03**	**0.20**
平年*3	0.13	0.15	0.12	0.13	0.18	0.37
前年同期	0.03	0.03	0.07	0.03	0.33	0.33

２月上旬は全体的に沈殿量が少ない時期であり、各湾ともに、平年よりも少ない傾向にありました（図１）。なお、２月下旬は荒天のため欠測となりました。

現在、親潮が本県沿岸域付近まで波及しておりますが、依然として北上する黒潮の勢力は強く、親潮の波及は一時的なものであると予測されます（図２、３）。

３　その他

（１）　北上丸による沿岸海洋観測・動物プランクトン発生状況調査（５湾）及び当センター並びに沿岸広域振興局水産部による野田湾の観測調査（図赤枠）によるものです。

（２）　いわて大漁ナビ（https://www.suigi.pref.iwate.jp/）の定地水温情報・衛星画像や当センター発行の海況情報等も参考にしてください。

※１　熊野川の大規模実証試験において、２月放流の場合、放流時のサイズが大きいほど回帰率が高い傾向がある。

※２　野田湾は２月 15 日に観測・調査を実施、動物プランクトン沈殿量はネットを２回曳いて測定。

※３　平年は過去 19～21 年間の同期の平均値。野田湾は H17、H19 の北上丸及び県北水産部の調査結果の平均値。

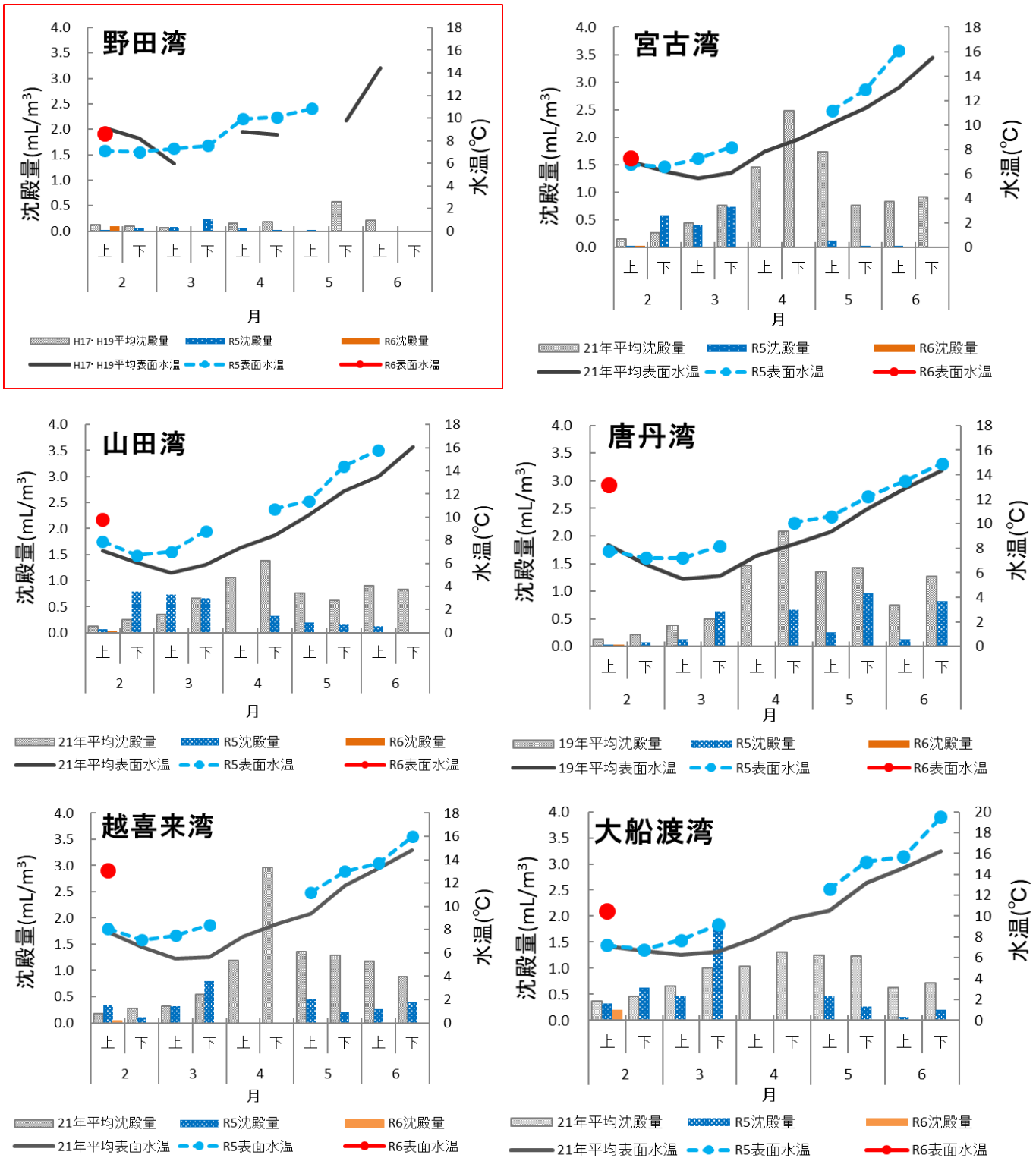

図１　６湾における動物プランクトン沈殿量及び表面水温の月旬毎の変化

※水温値が欠落している箇所は欠測であり、併せて同期の沈殿量データも欠落している。

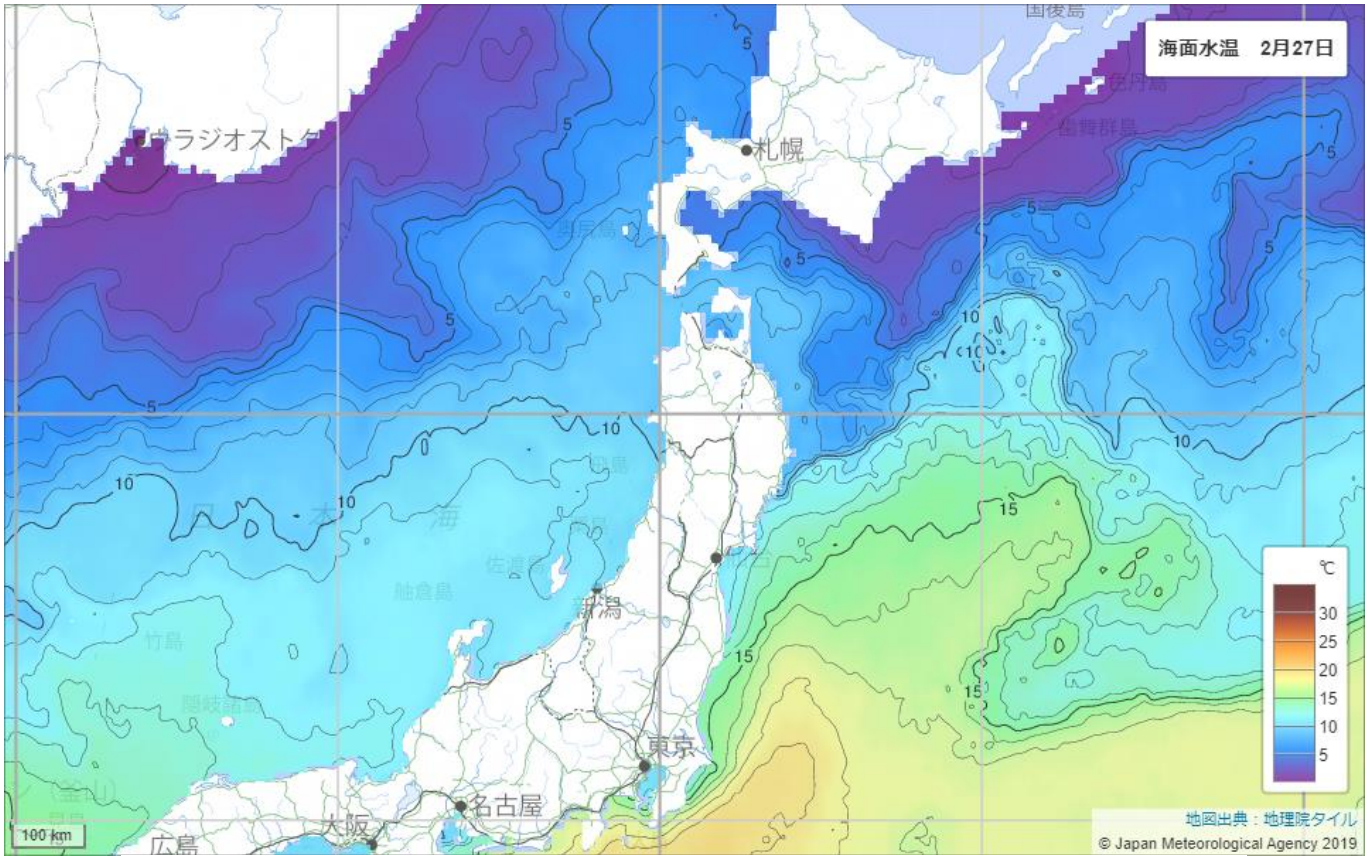

図２　令和６年２月 27 日の海面水温図

※気象庁 HP（気象庁 ｜ 海面水温実況図（jma.go.jp））より引用

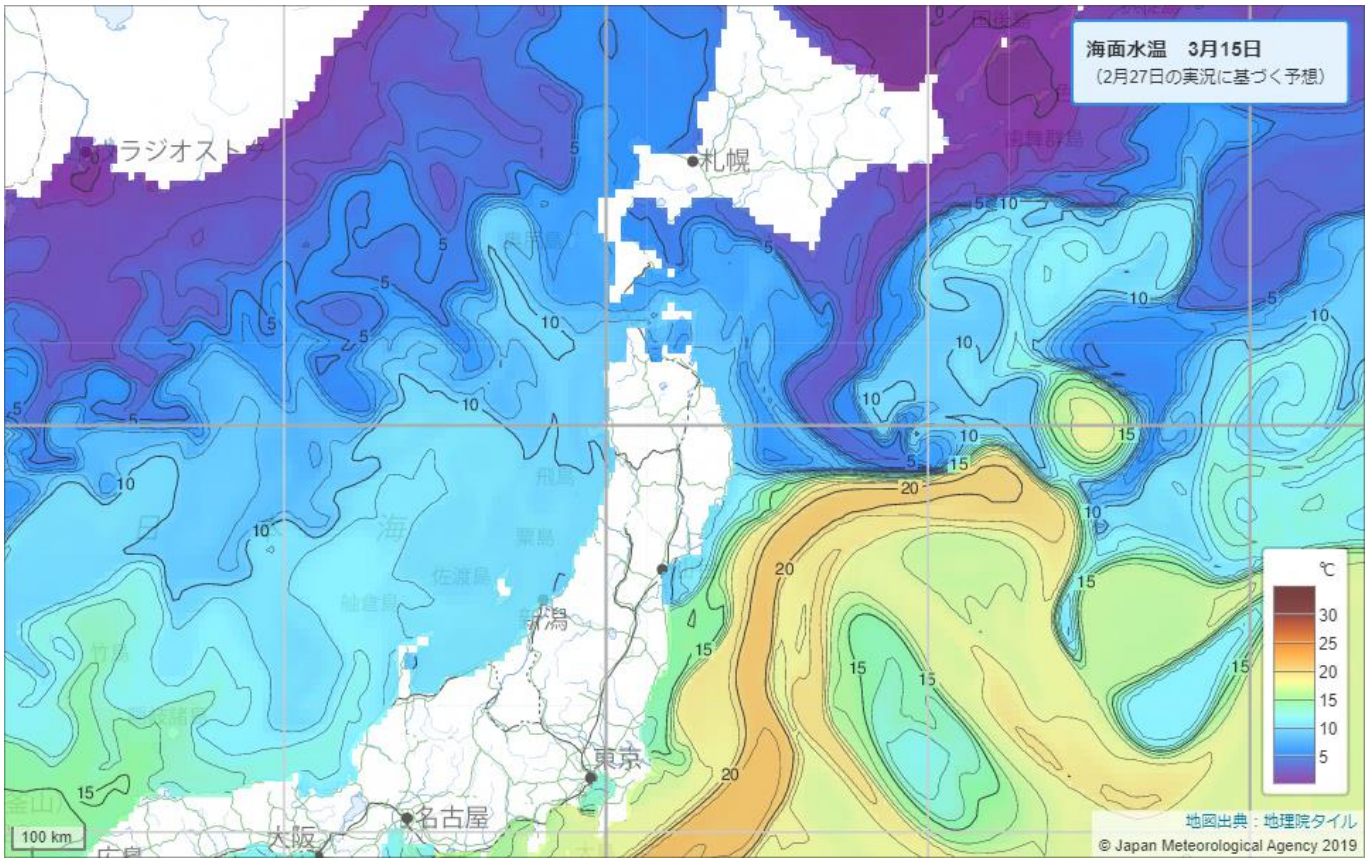

図３　令和６年３月 15 日の海面水温予測図

※気象庁 HP（気象庁 ｜ 海面水温予想図（jma.go.jp））より引用